



六甲カトリック教会 教会報

一人ひとりがおかれている場所で

主任司祭 英 隆一朗, s.j.

六甲教会の祈り(第4段落)には、「私たちひとりひとりがおかれている場所で」とあります。教会に来て何か活動することもあります。クリスチャンとして一番大切な場は、日頃各自がおかれている場所です。人によって、家庭であったり、職場でしょう。あるいは、ボランティア活動の場であったり、時には、病院(入院中ならば)かもしれません。自分がおかれている場で、クリスチャンとしてどう生きているかを問いかけてみましょう。

ルカ10章38節から42節に「マルタとマリア」の話があります。イエスは活動的なマルタを褒めずに、イエスの話をじっくり聞いていたマリアの観想的態度を褒めます。本当に大切なことは、イエスのことばをしっかりと聞き、心を合わせて生きることなのでしょう。そして、その恵みをまわりの人と分かち合えたら素晴らしいです。

7月に入り、コロナウイルスによる感染症の拡大期に入りました。日頃のミサは継続しますし、平和を祈る集いやウクライナの写真展などは行います(緊急で大事な問題ですから)。それでも全般的に少し静かにして、個人的な祈りを深め、一人ひとりがイエスとしっかりと結ばれる時としましょう。



英神父のブログ=福音お休み処=より

夏が過ぎれば、感染拡大は次第に収まるでしょう。状況を見ながらですが、秋口より教会活動を少しずつ再開していくつもりです。三日月会・講演会・遠足・巡礼・バザー・イグナチオ喫茶などです(イグナチオ喫茶については、新体制で、月1回くらいから再開したく、スタッフを募集します)。

イエスのことばを味わうために、ミサの説教は助けになります。ただ、時折、説教の声聞こえないという苦情が寄せられます。高齢化のため、致し方ない面もあるでしょう。音響設備の大規模な更新はすぐには難しいので、各自で工夫してくださいとありがたいです。聞こえづらい方は、聖堂に座る際、天井を見上げてなるべくスピーカーの下に座るようにしてください(中列あたり)。聖堂を出た廊下(イグナチオホールとの間)は、低い天井にスピーカーがあり、かなり聞きとりやすいです。また、事務室で聖堂専用の補聴器を貸し出していますので、試してみてください。

福音宣教のために、日曜日の説教をブログで公開しています。聞きとりにくい方は、後で聴くことができます。「福音お休み処」で検索すると、ブログ・ツイッター・インスタ・フェイスブックの4つの場所で聴くことができます。また、ほぼ毎朝、朝の黙想の実りを短い文章で公開していますから、信仰生活の糧にしてみてください。

困難なことも多々ありますから、各自、さまざまな工夫をしてみましょう。いろいろな形で語りかけてくださるイエスのことばに耳を傾け、霊的な糧をもらいながら、この夏を乗り越えていきましょう。

2022年度 第2回小教区評議会議事録(要約)

日時 7月10日(日) 13:00~14:40 場所 第1、第2会議室

出席者 英主任司祭 中村神父 宗行議長 三垣・堤両副議長 大上・多田両書記 蛭田(財務部・三日月会) 松平(宣教・養成部) 中西(典礼部) 井川直(地区会) 井川伸(社会活動部) 藤井(婦人会) 林(壮年会) 吉村(教会学校) 本下(施設管理部) 詫(広報部) 大鶴(教会事務所)

1.主任司祭より

- 1) インド人神学生ニティン・コエリョさんが、この9月から来年3月まで教会に滞在予定。教会学校、中高生会、聖体奉仕、侍者、奉仕活動に参加してもらう。
- 2) コロナの再拡大がみられるので、教会活動の再開は状況を見きわめて進めていく。9月から月1回で再開予定のイグナチオ喫茶の準備は進めておく。
- 3) 共同祈願文について
共同祈願の4つの「意向」はそれぞれ①教会のための祈り②政治や社会、全世界の救いの祈り③困難に悩む人への祈り④現地の共同体のための祈り、ということになっている。したがって④の祈願文は六甲共同体もしくは大阪教区に関するものが望ましい。
- 4) イエズス会4教会(東京聖イグナチオ、広島祇園、山口、六甲)の連携を強化したいという動きがある。イグナチオ教会では六甲教会への巡礼を希望する信徒がおられる。
- 5) 六甲教会でウクライナ支援活動をしている人があれば大阪教区に報告する。
- 6) 7月第2主日は「船員の日」また24日は「祖父母と高齢者のための世界祈願日」であるが、日本では9月が敬老月であり、バチカンが認めれば移行されるかもしれない。

2.報告事項

- 1) 春の黙想会(5月21日) スタッフを含め80人を越える参加があった。
- 2) 第1回地区役員会(5月29日) 納涼の夕べは中止と決定。バザーは11月13日(日)開催、蚤の市と古着販売を中心とし、酒類や食物の提供はしない。
- 3) 神戸地区宣教司牧評議会(5月29日) 初回で顔合わせ、コロナ対策などの現況を報告し合った。
- 4) 祈りと音楽の集い(6月5日) 100人程の参加。聴衆から献金もいただいた。
- 5) 財務委員会(6月12日、19日) コロナ前と後の財務状況を説明。モニターの文字が小さく見えづらいという意見あり、今後の工夫が課題。
- 6) 転入者・新受洗者への説明会(6月26日) 関係者含め30人ほど参加。次回からは出欠を確認し、地区会との連携を密にする。欠席者には当日の模様を手紙にして郵送する。
- 7) 侍者練成会 昨年、一昨年に初聖体を受けたこどもたち延べ14人で練成会実施。7月24日11時半のミサで侍者任命式。8月から順次侍者を務める。ことしの初聖体のこどもたちは10月23日(日)30日(日)に侍者練成会を行う予定。
- 8) 教会学校 8月11日(水)~13日(土)の予定でキャンプ実施準備中。

3.協議事項

- 1) 今後の行事予定
 - 平和旬間(8月6日・土) 松浦ビスカルド篤子さんの講演。六甲学院の生徒にも参加呼びかけ予定。講演後18時ミサを経て「茶話会」を開く予定。
 - 典礼奉仕者の集い(9月11日・日) 13時よりイグナチオホール
講師 英主任司祭 テーマ: 新しい日本語訳式文によるミサ式次第について(仮題)
 - 社会活動部学習会(9月18日・日) 下川雅嗣神父の講話 イグナチオホール
 - 地区役員会(9月4日・日) バザー準備会を開く。
- 2) 「新しいミサ式次第」について
『ミサ式次第【会衆用】簡易版』(定価110円)を100円で信徒に頒布する。
また、11月20日(日)26日(土)の13時より英主任司祭より説明会を行う。
- 3) 壮年会婦人会合同主催の日帰りバス旅行は10月22日(土)
行先は滋賀県近江八幡方面。草津教会訪問も予定。教会を9時出発17時帰着予定。
9月上旬に参加者募集。
- 4) 教会ホームページの拡充など「出向いて行く教会」のためのSNS活用、WiFi環境の整備を広報部、宣教・養成部を中心にプロジェクトチームを立上げて進める。
- 5) その他 日曜班の掃除時間帯について意見があるがコロナ体制の現状では据置きとする。

《平和旬間の集い》

六甲教会のここの「平和旬間の集い」は、ビスカルド篤子さんの講演「いつまでも戦後と呼べるように」です。日時は、8月6日(土)15時受付開始、会場は主聖堂です。講演会の終了後は夕18時ミサにつなぎ、ミサ後は茶話会となります。

またイグナチオホールでは「アーティストック ウクライナ」写真展が開かれます。期間は、8月6日(土)～14日(日)まで。詳しくはチラシ、ポスター参照。

《平和を願う講演会と祈りの集い》

2年ぶりの開催となる六甲の平和旬間の集い。平和について考え、学ぶ機会として、大阪教区社会活動センターシナピスの松浦・ビスカルド・篤子さんを講師に招き、世界のそして日本の難民が置かれている状況について語っていただきます。ウクライナの難民受け入れを積極的に行っている反面、日本の難民認定率は0.4%しかありません。世界中で紛争が起き、難民の数が膨れ上がる中、これでよいのでしょうか。ご一緒に考えてみませんか。また、講演会の後の祈りの集いでは、フランシスコ教皇のウクライナの状況に向けてのメッセージを読みながら、一日も早く戦争が終わるように祈ります。今尚、攻撃を受ける恐怖の中で生活する人たちがいることを、私たちは絶対に忘れてはいけません。

平和旬間中、イグナチオホールでは、上智大学で開催されたウクライナの写真展も開催します。お立ち寄りください。

(宣教部 松平麻也)

2022 日本カトリック平和旬間 8.6～15

六甲カトリック教会
平和の集い
8月6日(土)

15:00～受付
15:15～17:00 **講演会** (場所: 聖堂)
「いつまでも戦後と呼べるように」
大阪教区社会活動センターシナピス
松浦・デ・ビスカルド篤子さん
17:00～17:30 **朗読と聖歌 祈り**
18:00～ **主日ミサ**
ミサ後「茶話会」

「アーティストック ウクライナ」写真展
8月6日(土)～14日(日) 於 イグナチオホール

社会活動部では、年に一度の学習会を来月以下の日時で予定しております。大変貴重なお話を伺えるまたとない機会ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

学習会 9月18日(日) 13:00～ イグナチオホール
講師: 下川雅嗣神父 (イエズス会 上智大学)

テーマ: 教会の社会的次元

神学生のころから現在に至るまで25年間、渋谷の野宿者とかかわり続けられた司祭が教会・信仰の社会的次元についてお話をさせていただきます。なぜ教会、そしてキリスト者は社会問題とかかわるのか考えましょう。

【社会活動部からのお知らせ】 8月は炊き出し、手芸、ともしび会、すべての活動はお休みです。

《侍者任命式》



7月24日(日) 11時30分ミサで、侍者任命式がありました。昨年、一昨年に初聖体を受け、さらに侍者練成会を経て、今回新しく任命された8人のうち、この日は5人が出席。白衣を着て最前列にならび、英主任司祭の「侍者の心構え」のお話に耳をかたむけ、それぞれに木の十字架が渡されました。コロナによる制限がゆるみ次第、少しずつ侍者の働く機会が増えます。

今月の聖人 聖ピエール・ファーブル (ペトロ・ファーベル)

ピエール・ファーブル(1506～1546)は、フランス南東部サボア地方の生まれ、イグナチオ・ロヨラと共にイエズス会の創設に力を尽くした人物です。司祭叙階はイグナチオより3年早く、しかもイグナチオより15歳も若く、精力的に働きました。因みにイグナチオもフランシスコ・ザビエルもパリで勉学に励んだときの同窓生で、たがいに絆を深めあっています。ファーブルたちはローマに赴き、教皇パウルス3世の信認を得て、エルサレム巡礼の許可を与えられました。このエルサレム行きの目的は異教徒への宣教も含まれていましたが、当時のトルコ帝国の勢力が強く実現しませんでした。彼らはローマでさらに研鑽を積み神学を究め、1540年9月、イエズス会は教皇の認可を受けた修道会として認可されました。



時代は宗教改革の嵐のさ中、彼らはヨーロッパ各地を回りプロテスタントとの論争や交渉にエネルギーを費やし、霊操による教会刷新を唱えます。教皇からトリエント公会議への出席を求められ、それに向かったファーブルは無念にも体調を崩し、1546年8月1日に40歳で亡くなり、この日が記念日となっています。ファーブルは1872年に列福、2013年にフランシスコ教皇によって列聖されました。(詫 洋一 記)

註 トリエント公会議 宗教改革運動に対抗して、カトリックとしての教義再確認、改革などを盛り込んだ会議。1545年から1563年まで断続的に開かれた。

私の好きな聖書の言葉 (第3回)

「求めなさい。そうすれば、与えられる。」 ルカ 11・9, マタイ 7・7



願望しても、座して待つだけではダメ。願望の実現に向けて能動的に行動しなさい、という教えです。神を信じて行動を起こしなさい。信じて努力する人を神は絶対に見捨てない。努力するのはあくまであなた自身です。「努力して委ねる」からもう一歩進んで「信じて努力する」へ。時間がかかっても、諦めないで努力を継続する。苦労が大きいほど実現できた時の喜びは大きい。その時、気付くのです。「ああ、神はずっと見守っていてくださったのだ。自分が求め続けたから、神が与えてくださったのだ。神様、ありがとうございます。」 林 和俊

趣味百景

朝の散歩とラジオ体操

井川直哉



私の趣味は朝の散歩とラジオ体操です。朝6時前に起きて自宅から徒歩20分弱のラジオ体操の会場に向かいます。場所は白鶴美術館の住吉川対岸にある階段を上った広場です。参加者は25～26名、高齢者がほとんどですが、皆のアイドルは、休日にたまに参加する小学生3人の仲良し女子です。年中無休365日開催しています。12月～2月はまだ暗く街灯の下で体操をします。手袋は必須です。元旦には、体操の後、弓弦羽神社に初詣をするグループがいます。今年の1月には、「前澤（友作、実業家）さんの宇宙ステーション！」という声上がり見上げると、光の玉が濃紺の空を水平に横切り視界から消え去りました。今の時期はゼラニウム、紫陽花、ムラサキツユクサが咲いています。

「新しい朝が来た♪～希望の朝だ♪～」の歌がラジオから聞こえると小学生の頃の記憶が蘇ります。夏休みのラジオ体操を皆勤出席するとお菓子やノートブックが貰えました。小学6年生の夏休みにはラジオ体操の世話役になり、皆の前で体操することになり家で練習をしたことを思い出します。また、体操のあと、ヨットやトンボの出席判子を押す係りもしていました。低学年の子にはオマケで判子を押ししたりしました。

ラジオ体操は100年近くの歴史があり1928年11月にスタートしました。有酸素運動とストレッチを兼ねており無理なく全身の筋肉や関節を動かし柔軟性の向上と血行を増進します。普段使っていない筋肉を刺激するメリットもあります。第一と第二それぞれ約3分です。第一は「血行促進、肩こり、体のゆがみ」、第二は「筋肉、内臓」に効くと言われています。効果を得るためには、腕を上げる時はしっかりと耳まで持ち上げ肩甲骨を大きく動かすようにするなどポイントを意識する必要があります。



科学雑誌 Newton2021年7月号に「ラジオ体操は科学的にすぐれた全身運動」との記事がありました。第一の運動強度は4メッツ*あり、卓球と同じくらいの負荷とのこと。朝の広場でのラジオ体操は、朝食が美味しくなり、早寝早起の習慣が付き、しかも無料で健康になるという最適な運動だと思います。

*メッツ (METS: METabolic equivalent の略。安静時の酸素消費量を1として身体活動時の酸素消費量はその何倍に当たるかを示した数値)

【掃除用ぞうきん 提供のお願い】

掃除用のぞうきんとして、古タオル、ぼろ布が常に不足しがちです。ご自宅にそうしたものがあれば、ご提供くださるよう、お願いします。洗濯済のもので、あらかじめ、手のひらサイズにカットしていただくとすぐに使用できて便利です。8月中、風防室に段ボールを設置します。ご協力ください。(地区会)

船員司牧(ステラマリス)全国研修会に参加して

7月18日(祝)、日本カトリック難民移住移動者委員会ではオンラインでの全国研修会が行われました。

日本の輸出入全体の99.7%が港を経由している昨今、私たちの生活を支えてくれる船には多くの人々が関わり、長期間の航海での狭い生活空間、短い停泊の中での荷の積み下ろしなど、過酷な労働環境はこのコロナ渦でさらに厳しい状況に置かれています。そんな船員さんたちの仕事や生活について学び、また、帽子を送る会の映像紹介もありました。

遠くは北海道や九州、そして横浜や川崎など、ここ神戸とは離れた場所で船員司牧活動をしておられる方々との分かち合いは、オンライン研修ならではの醍醐味です。

母国から遠く離れ、沢山の人の生活を支えるために命がけで働いている船員さんやその帰りを待つご家族のために、航海の安全や無事を祈りたいと思います。(三垣恭子)

教会のご近所訪問 創作ビストロ「プティ・グラン」

教会から阪急六甲駅の踏切を南方向へ下ります。八幡神社を右に見て、JR六甲道へ向かう道筋、左手に創作ビストロ「プティ・グラン」が見えてきます。店頭には大きなクマさんのぬいぐるみがやさしくお客様を誘っています。フランス料理をメインにランチやディナーを気軽に味わえます。創業してこの11月で満14年、小さいけれどしっかり街に根付いたレストランになりました。現在は、シェフの福村隆之さんと薫さんのご夫妻(写真下)でお店を切り盛りされています。ランチもディナーもリーズナブルな価格で提供、コース料理だけでなく、アラカルトも豊富、カツカレーなんかもできます。また年末には「おせち」の注文を受け付けています。特徴はチーズの種類がゆたかでおいしいこと。デザートにスイーツの代わりにチーズをチョイスすることもできます。ランチではパスタランチ、ミルフィーユとんかつランチなどが人気メニュー。



いずれのお皿にもシェフの繊細な心遣いが感じられ、安心できるお店です。

灘区八幡町 2-1-12 灰谷ビル 1F 月曜日はお休み

イグナチオ・ロヨラの息吹〔3〕

求道者としての歩み

中村健三神父

人々の靈魂を助けたいとの熱望によって、そのためにどうしても学問の必要を感じ、彼は1528年、パリにおもむき勉学に励むことになった。しかし靈魂を良く助けるため、また説教するためには単なる学問ではなく、司祭職をめざす必要があった。残念ながら、当時の多くの司祭は学問に乏しく、貧しい生活に追われ、世間一般の評判も余り芳しくなかった。全く不思議なことに、彼の成徳に魅かれまた個人的に靈操指導を受けることによって、次第に仲間と呼ばれる人々が集まった。彼の人柄からくるのか、イエスに対するひたすらなる尊敬の念なのか、既にマンレサに居る時から数人の仲間が付き従っていたが、ここパリにおいても彼を師と仰ぐ「主における友」・同志に恵まれた。ペトロ・ファーベルも、また後年に東洋の使徒と呼ばれるフランシスコ・ザビエルも彼の仲間であった。こうして彼ら七人は1534年8月15日聖母マリアの被昇天の大祝日に、モンマルトルで誓いを立てた。皆がキリストに倣って清貧を生き隣人に奉仕することを約束し、エルサレムに巡礼するためにベニ

スに集まり、一年待っても不可能な場合には教皇の下に行き、適当と判断される場所に喜んで出かける旨の誓願であった。

イグナチオは、頑健そのものに見えるけれども、時に疑念や憶悩に悩まされ、また罪の償いとして長年にわたって、肉食を断ち苦行や断食や不眠の修行を自らに課したためか、彼の健康は大きくむしばまれていた。その為にはどうしても転地や治療も必要であった。さらに、彼が行く処どこでも攻撃や非難にさらされ、正統性についての嫌疑がかけられた。しかしローマの近郷、ラ・ストルタの小聖堂で大きな示現に恵まれ、父である神が彼と共に居られ、キリストに仕える者としてくださったと確信するに至った。こうして一つの修道会を創ることが、彼の視野に入ることになった。「主よ、あなたは私を探り、知り尽くされました。あなたは遠くから、わが思いを弁えられます。あなたは我がもろもろの道を知っておられます。私は何処へ行ってあなたの御靈を離れましょうか。あなたの御手は私を導き、支えられます。」



ロヨラの生地バスク地方の地図



ロヨラ城（イグナチオ・デ・ロヨラの生まれた城）

ロヨラは軍人で名門の家系に生まれた

【2022年8月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
					初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 10:00 ミサ後 ◎灘北2・阪神	主の変容 平和旬間 講演会
7	8	9	10	11	12	13
年間第19主日			聖ラウレン チオ助祭殉 教者	教会学校 キャンプ (~13日) 教会受付 休み	◎灘北1・北・ 三田	
14	15	16	17	18	19	20
年間第20主日	聖母の被昇 天ミサ 07:00 10:00				◎灘南・神戸西	
21	22	23	24	25	26	27
年間第21主日			聖バルトロ マイ使徒		◎灘西・中央	
28	29	30	31			
年間第22主日						

◎は掃除当番地区です。

【編集後記】

- ・ せっかくコロナ規制が緩められると思ったら、また感染者が爆発的に増えてきたようです。10月に「遠足」が久しぶりに復活します。楽しみです。このころには無事に行けるのでしょうか。
- ・ 今年の平和旬間はことさら大切にしたいものです。ウクライナをはじめ世界の平和を真に望みます。講演会と写真展、たくさんの方々が参加されますように。
- ・ 「盛夏」です。エネルギーの満ち溢れる季節。でも猛暑日もあり、熱中症にはお互い気をつけましょう。「余」

<p>次回 9月号の発行は8月27日(土)です。 原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご 持参いただくか、FAX やメールでお願いいたしま す。皆様からの原稿をお待ちしています。 あわせてご意見もお寄せ下さい。広報部 http://www.rokko-catholic.jp</p>	<p>六甲カトリック教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 Eメール renraku@rokko-catholic.jp 発行責任者 英隆一朗 編 集 広 報 部</p>
--	---